



子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム 受講生募集

子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラムとは

長崎県内外の発達障害等への医療・特別支援教育、双方の視点を踏まえた高度の支援スキルを持つ人材育成を目的とした1年間の履修証明プログラムです。

WEBを利用して自宅で自分の好きな時間に講義を受講する（eラーニングによる受講）ことができます。全80コマおよそ120時間です。

※ご受講にはパソコン及びインターネット環境が必要です。

（タブレット端末やスマートフォンでの視聴は、受講環境が整わない場合があります）

◎プログラム内容

発達障害や精神障害のタイプ、それぞれの特性に関すること、そのような問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や連携方法について、当センター教員及び、各領域で活躍している講師によるオンライン上で受講できるeラーニング講義のプログラムです。受講を通して、子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けていただきます。教師、保育士、療育関係者など、現在就業中で、勤務時間が異なる受講者、離島など遠隔地に勤務し来学が困難な受講者などが受講可能なように、時間や場所にとらわれない、eラーニングによる自己学習プログラムになります。全てのプログラムを修了すると、長崎大学から修了証が授与されます。

◎申し込み資格

- ・高校卒業以上
- ・発達障害のある子どもに関わっている方(教師、保育士、療育関係者、保護者等)
- ・ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方
(動作環境：Windows 8.1, 10, Mac OS及び使用ブラウザ Firefox、GoogleChrome)

◎受講料

5万円/年（令和2年4月納入）

◎修了（履修証明）の要件

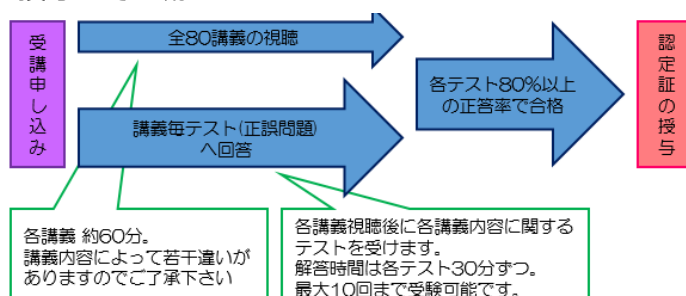
講義120時間を受講し、全科目試験に合格した場合。

◎定員：200名/年

◎申込方法

1. 募集開始 2019（令和元）年12月2日(月)正午～（定員に達し次第締め切ります）
2. 申し込みフォームを 2019（令和元）年12月2日（月）正午に当センターWEBサイト
(<http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp/index.html>)へ掲載予定。
3. 受講可否通知 2020（令和2）年3月頃予定（本人へ郵送又はメールにてお知らせします）

◎認定証（履修証明）授与までの流れ



※講義動画の視聴は受講開始翌年の1月31日まで可能です。
受講状況確認等の関係上、3月末までではありませんので、ご注意ください。

1:発達障害と併存症に関する知識を修得する科目 17コマ

1	知的発達症、限局性学習症
2	コミュニケーション症
3	注意欠如・多動症
4	自閉スペクトラム症1
5	自閉スペクトラム症2
6	発達性協調運動症
7	双極性障害・うつ病
8	統合失調症とその前駆状態について
9	当事者からはなし
10	大人の自閉スペクトラム症
11	大人のADHD
12	子どもの神経症性障害
13	選択性緘黙
14	少年犯罪について
15	子どものトラウマとその対応
16	てんかん
17	子どもの高次脳機能障害

3:発達障害児や心の問題を持つ子どもの支援方法を修得する科目 26コマ

28	医療による対応：診断、薬物治療
29	応用行動分析
30	早期の自閉症児への介入
31	認知行動療法
32	発達障害児の言語発達支援
33	自閉症児の学習スタイルと環境づくり（TEACCHアプローチに学ぶ）
34	ASD児のコミュニケーション支援
35	感情マネジメント
36	感覚・協調運動の問題への対応
37	日常生活支援（食事、排泄、睡眠など）
38	不登校への対応
39	虐待を含む養育不全への対応～ASDにおける社会性不全と養育不全への対応～
40	発達障害児への性教育1
41	発達障害児への性教育2
42	読み書きの支援1（ひらがな編）
43	読み書きの支援2（漢字編）
44	見ることの支援1
45	見ることの支援2
46	算数の支援
47	発達障害児のための道具の工夫
48	ITを活用した支援
49	子どもの自殺を防ぐために
50	子どもによる犯罪を防ぐために
51	ソーシャルスキルトレーニング
52	ソーシャルストーリー
53	ASDに対する応用行動分析と実践

2:発達障害等のアセスメントを修得する科目 10コマ

18	発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング
19	知能検査の結果に基づく支援（Binet系、Wechsler系）
20	認知発達検査の結果に基づく支援（K-ABC、K式）
21	発達検査（KIDS、遠城寺、JMAPなど）
22	言語の評価
23	協調運動・感覚処理の評価
24	行動の評価（適応行動、ADHD評価含む）
25	ASDの評価
26	LDの評価
27	個別の教育指導計画・教育支援計画

4:特別支援教育・保育の方法を修得する科目 11コマ

54	特別支援教育の概要と新しい指導要領について
55	通常学級における特別支援教育
56	巡回相談
57	通級指導教室における支援
58	特別支援学級での支援
59	特別支援学校での支援
60	スクールカウンセラーによる支援
61	スクールソーシャルワーカーの役割と支援
62	保育所（園）での支援
63	保育所等訪問支援の取り組み
64	大学における発達障害学生の支援

5:関係機関や保護者との連携方法を修得する科目 16コマ

65	NPOによる支援
66	発達障害者支援センター
67	医療機関としての取り組み
68	児童相談所による支援
69	不登校・引きこもりの現状と支援者・社会が再びつながるために
70	健診における取り組み・保健センターの関わり
71	教育委員会の取り組み
72	障害児通所支援事業所における発達障害児支援
73	児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児等への支援
74	保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかわり
75	親の会活動1
76	親の会活動2、ペアレントメンターによる支援
77	ペアレントトレーニングの概要
78	就労支援の実際
79	福祉サービス事業について
80	相談支援事業

□ 受講申し込みサイト <https://forms.gle/pFKG5SvLTJcz6j3W8>

【本プログラムに関するお問い合わせ】

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉ メール kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🌐 ホームページ <http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp/index.html>



このQRコードでもお申し込みできます。